

# JIS

## 石油製品—航空燃料油試験方法

JIS K 2276 : 2003

(PAJ)

(2007 確認)

平成 15 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学
(委員)	大 久 泰 照	昭和シェル石油株式会社
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	楨 宏	日本プラスチック工業連盟

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.4.18 改正：平成 15.3.20

官 報 公 示：平成 15.3.20

原 案 作 成 者：石油連盟

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 9-4 経団連会館 TEL 03-3279-3811)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長代理 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 石油製品－航空燃料油試験方法

## 正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	9.2 d)	三角フラスコ 2 000 mL に…。溶液の濃度変化が 0.2 mol/L 以上…。	三角フラスコ 2 000 mL に…。溶液の濃度変化が 0.2 mmol/L 以上…。

平成 20 年 7 月 1 日作成

白 紙

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、石油連盟 (PAJ) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 2276 : 1994** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、対応国際規格 **ISO 3012 : 1999**, Petroleum products – Determination of thiol (mercaptan) sulfur in light and middle distillate fuels – Potentiometric method, **ISO 3013 : 1997**, Petroleum products – Determination of the freezing point of aviation fuels, **ISO 6249 : 1999**, Petroleum products – Determination of thermal oxidation stability of gas turbine fuels – JFTOT method, **ISO 6250 : 1997**, Petroleum products – Determination of the water reaction of aviation fuels 及び **ISO 6297 : 1997**, Petroleum products – Aviation and distillate fuels – Determination of electrical conductivity を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS K 2276** には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (規定) 熱安定度試験器 (JFTOT)
- 附属書 B (規定) JFTOT 加熱管の目視評価法
- 附属書 C (参考) 校正器及び熱電対の保守
- 附属書 1 (規定) 水分離指数試験器検査に使用する標準油用基油の調製方法
- 附属書 2 (規定) 水分離指数試験器 (マイクロセパロメータ法) の標準油による検査方法
- 附属書 3 (参考) 水分離指数試験方法 (ウォーターセパロメータ法)
- 附属書 3A (参考) 水分離指数試験器 (ウォーターセパロメータ法) の標準油による検査方法
- 附属書 4 (参考) 爆発性試験方法
- 附属書 5 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	2
3. 定義	2
4. 試験方法の種類	3
5. 外観試験方法	5
6. 酸化安定度試験方法（潜在残さ物法）	5
7. 析出点試験方法	12
8. 水溶解度試験方法	18
9. 酸価試験方法	20
10. チオール（メルカプタン）硫黄分試験方法（電位差滴定法）	24
11. ドクター試験方法	29
12. ルミノメータ数試験方法	31
13. ナフタレン分試験方法（紫外吸分光光度法）	39
14. 銀板腐食試験方法	41
15. 熱安定度試験方法（JFTOT 法）	47
16. 水分離指数試験方法（マイクロセパロメータ法）	52
17. 微粒子よう雑物試験方法（試験室ろ過法）	56
18. 導電率試験方法	59
19. 水素含有量推定方法	63
20. 過酸化物価試験方法	66
附属書 A（規定）熱安定度試験器（JFTOT）	70
附属書 B（規定）JFTOT 加熱管の目視評価法	78
附属書 C（参考）校正器及び熱電対の保守	82
附属書 1（規定）水分離指数試験器検査に使用する標準油用基油の調製方法	83
附属書 2（規定）水分離指数試験器（マイクロセパロメータ法）の標準油による検査方法	85
附属書 3（参考）水分離指数試験方法（ウォータセパロメータ法）	87
附属書 3A（参考）水分離指数試験器（ウォータセパロメータ法）の標準油による検査方法	94
附属書 4（参考）爆発性試験方法	96
附属書 5（参考）JIS と対応する国際規格との対比表	106

## 石油製品—航空燃料油試験方法

## Petroleum products-Testing methods for aviation fuels

**序文** この規格は、1999年に第3版として発行された **ISO 3012** : 1999, Petroleum products—Determination of thiol (mercaptan) sulfur in light and middle distillate fuels—Potentiometric method, 1997年に第2版として発行された **ISO 3013** : 1997, Petroleum products—Determination of the freezing point of aviation fuels, 1999年に第2版として発行された **ISO 6249** : 1999, Petroleum products—Determination of thermal oxidation stability of gas turbine fuels—JFTOT method, 1997年に第2版として発行された **ISO 6250** : 1997, Petroleum products—Determination of the water reaction of aviation fuels 及び 1997年に第2版として発行された **ISO 6297** : 1997, Petroleum products—Aviation and distillate fuels—Determination of electrical conductivity を基に、対応する部分（この規格の **7.**, **8.**, **10.**, **15.**, **18.**, 附属書 A, 附属書 B, 附属書 C）については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格がない規定項目（この規格の **5.**, **6.**, **9.**, **11.**, **12.**, **13.**, **14.**, **16.**, **17.**, **19.**, **20.**, 附属書 1, 附属書 2, 附属書 3, 附属書 3A, 附属書 4）を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 5**（参考）に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、航空ガソリン及び航空タービン燃料油を試験する方法について規定する。

**備考1.** この規格は、危険な試薬、操作及び装置を使うことがあるが、安全な使用方法をすべてにわたって規定しているわけではないので、この試験方法の使用者は試験に先立って適切な安全上及び健康上の禁止事項を決めておかなければならない。

**2.** この規格の対応国際規格を表 1 に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

表 1 対応国際規格

試験方法	対応国際規格
析出点試験方法	<b>ISO 3013</b> : 1997 Petroleum products—Determination of the freezing point of aviation fuels (MOD)
水溶解度試験方法	<b>ISO 6250</b> : 1997 Petroleum products—Determination of the water reaction of aviation fuels (MOD)
チオール硫黄分試験方法 （電位差滴定法）	<b>ISO 3012</b> : 1999 Petroleum products—Determination of thiol (mercaptan) sulfur in light and middle distillate fuels—Potentiometric method (MOD)
熱安定度試験方法（JFTOT 法）及び附属書 A, B, C	<b>ISO 6249</b> : 1999 Petroleum products—Determination of thermal oxidation stability of gas turbine fuels—JFTOT method (MOD)